

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	4	つないで、つないで、一つのお話	1 話・聞①	◎話し手の一文の内容を捉えながら聞き、自分の言葉で続きのお話を作ることができる。(話・聞(1)エ, 伝国(1)イ(カ))	・お話を作って話すことに興味をもち、積極的に参加しようとしている。	【話・聞】 ・話し手の意図を捉えながら聞き、話す事柄の順序を考えて続きのお話を作ることができる。	・前の人の言葉を受け、それに合うような言葉を考えてお話を作っている。	■グループで話し合い、一つのお話を作る。
		支度	1 読①	◎詩を読んで感じたことや考えたことが伝わるように音読することができる。(読(1)ア) ○詩における比喻や反復の表現に気づくことができる。(伝国(1)イ(ケ))	・詩の情景を想像しながら、自分なりに6年生1年間の学習に対しての緊張や期待を感じて音読しようとしている。	【読】 ・「心の支度」とはどのようなことか、考えたことが伝わるように工夫して音読している。	・反復や比喻など、表現の工夫に気づいている。	■詩を味わう。
	1 登場人物の心情をとらえ、感想をまとめよう							
	カレーライス	5 読⑤	◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、自分の考えをまとめることができる。(読(1)エ) ○教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読(1)オ) ・自分の感想を表すために、的確な言葉を用いることができる。(伝国(1)イ(カ))	・登場人物の相互関係や心情を理解し、自分の経験と重ねて共通点や相違点を探しながら読もうとしている。	【読】 ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、自分の感想をまとめている。 ・友達と感想を交流することにより、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・自分の感想を表すことのできる言葉を選んで、文章を書いている。	■感想を書く。 ※自我の目覚めや、大人との関係を扱った題材(道徳)	
	漢字の広場①	1 書①	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ・書いた文章を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。(書(1)オ)	・絵を見て、様子を想像しながら文章を書こうとしている。	【書】 ・表現の効果などを確かめている。	・5年生までに習った漢字を正しく使って、文を書いている。	■絵を説明する文章を書く。	
春のいぶき	2 書②	◎「春」を表す言葉とそれらがもつ意味を知り、その語感、使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国(1)イ(カ)) ○「春」を感じるものから書くことを決め、表現の効果などを確かめたり、工夫したりして文章を書くことができる。(書(1)ア・オ)	・「春」を感じるものを探そうとしている。	【書】 ・「春」を感じるものを一つ取り上げ、200字程度の文章を書いている。 ・「春」を感じる表現やその効果を工夫している。	・「春」を表す言葉の語感、言葉の使い方について関心をもっている。	■「春」を感じるものについて文章を書く。		

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	5	2 筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう						
		笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	7 読⑦	◎筆者の主張と事例などについて、考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読(1)オ) ○事実と感想・意見などの関係を押さえ、筆者の意図を捉えながら、自分の考えを明確にして読むことができる。(読(1)ウ) ・文章には、いろいろな構成があることを理解することができる。(伝国(1)イ(キ))	・文章の内容や筆者の考えに関心を持ち、自分の考えをもとうとしている。	【読】 ・筆者の主張と根拠を読み取り、自分の経験を振り返り、自分の考えをもとうとしている。 ・筆者の主張について、自分の考えを具体例とともに発表できている。 ・発表し合うことで、友達と自分との共通点や相違点を明らかにし、自分の考えを深めている。	・筆者が結論に至るまでの過程について、文章の構成を理解している。	■意見を述べた文章を読み、筆者の考えに対する自分の考えを発表する。
		学級討論会をしよう [コラム] 伝えにくいことを伝える	8 話・聞⑧	◎互いの立場や意図をはっきりさせながら、疑問点を整理して自分の意見を言ったり、質問をしたりして、討論することができる。(話・聞(1)オ) ○討論会の話題に沿って、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。(話・聞(1)エ) ・討論会における言葉の使い方などについて関心をもつことができる。(伝国(1)イ(カ))	・討論の形式や話題に興味を持ち、積極的に参加しようとしている。	【話・聞】 ・自分の主張・根拠と対比しながら聞いている。 ・話題に対する肯定・否定両方の立場で自分の考え方、感じ方をもっている。 ・会議の順序や進め方の調整、対立の調整などが必要なことを理解し、話し合っている。	・意見や質問のよりよい述べ方や、言葉の選び方に関心をもっている。	■討論会をする。 ※互いの主張・根拠を聞き合い、対立点を調整しながら話し合う(社会・特別活動)
		漢字の形と音・意味	2 伝国②	◎漢字を組み立てている部分には、音を表すものや意味を表すものがあることを理解することができる。(伝国(1)ウ(ア)・(イ))	・漢字の形・音・意味に興味をもって課題に取り組もうとしている。		・漢字の特質について理解し、調べたことを発表している。	
前期	6	本は友達						
		私と本 森へ [コラム] 施設を利用して、本の世界を広げよう	5 読⑤	◎これまでの本との関わり方を振り返り、グループで発表し合うことで、今後の読書生活の幅を広げることができる。(読(1)オ・カ) ・自分の考えを明確に表現するため、語句と語句の関係を理解し、文章全体の構成の効果を考えることができる。(伝国(1)イ(オ)・(キ))	・これまでの読書体験を振り返り、本との関わりについて考えようとしている。	【読】 ・本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりしている。 ・今までの読書体験を振り返り、その本と自分の関わりから「いちばん心に残っている本」を選んで文章を書いている。	・自分の考えを明確にして、語句と語句の関係や構成を工夫して文章を書いている。	■心に残った本について文章にまとめる。 ※自然の美しさを感じ、生き物への愛を感じる心を養う題材(道徳) ※読書活動(図書館活用)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	6	漢字の広場②	1 書①	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ・書いた文を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。(書(1)オ)	・挿絵を見て、様子を想像しながら文を書こうとしている。	【書】 ・表現の効果などを確かめている。	・5年生までに習った漢字を正しく使って、文を書いている。	■絵を説明する文章を書く。
		河鹿の屏風	1 読①	○読み聞かせを聞きながら、登場人物の相互関係や心情、場面を捉えることができる。(読(1)エ, 伝国(1)イ(カ))	・昔話に興味をもち、読み聞かせを楽しもうとしている。	【読】 ・昔話の読み聞かせを聞いて、場面の情景や登場人物の相互関係や心情を想像している。	・言葉のリズムや表現の美しさを、楽しみながら聞いている。	■昔話の読み聞かせを聞く。
		夏のさかり	2 書②	◎「夏」を表す言葉を知り、それらの言葉のもつ語感、使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(伝国(1)イ(カ)) ○「夏」から想像する言葉を集めて俳句を作り、表現に着目して助言し合うことができる。(書(1)ア・カ)	・「夏」を感じるものや風景を探そうとしている。	【書】 ・俳句の形式を知り、「夏」を感じるものや風景の俳句を作っている。 ・作った俳句を読み合い、表現に着目して感想を伝え合っている。	・「夏」を表す言葉の語感、言葉の使い方について関心をもっている。	■俳句を作る。
	3 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう							
	7	ようこそ、私たちの町へ	1 2 書⑩	◎パンフレットという様式の特徴を理解したうえで、集めた事柄を整理し、文章全体の構成や、目次や見出し、リード文、解説文などを工夫することができる。(書(1)ア・イ, 伝国(1)イ(キ)) ○引用したり、写真や図を用いたりして、伝えたいことが明確になるように書くことができる。(書(1)ウ・エ・オ) ・パンフレットについて、目的や構成の観点から助言し合うことができる。(書(1)カ)	・構成や記述のしかたを考え、パンフレットを作ろうとしている。	【書】 ・書くことを決める際、ブレーンストーミングを活用して、アイデアを出し合っている。 ・文章全体の効果を考えて構成するとともにキャッチコピーを付けるなど、表現を工夫して書いている。 ・目的や相手の知りたい情報に応じて、文章の内容を考えている。 ・図表やグラフの特徴、効果を考えて用いている。 ・他の人の文章について、目的に照らしてよりよくするための助言をしている。	・効果という観点から構成や表現を考えて書いている。	■町のよさを多くの人に伝えるための文章を書き、編集する。 ※修学旅行のまとめや、卒業文集を編集する。(特別活動) ※写真や絵、図表を効果的に活用し、紹介のためのパンフレットを作る。(社会・総合的な学習の時間) ※調べ学習(図書館活用)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	8	せんねん まんねん	1 読①	◎詩を読んで感じたことや考えたことが伝わるように音読することができる。(読(1)ア) ○詩における反復表現の工夫に気づくことができる。(伝国(1)イ(ケ))	・詩の表現を意識して、自分なりに工夫して読もうとしている。	【読】 ・自分の印象や自分なりに大切だと思うところが伝わるように音読している。	・反復表現の工夫に気づいている。	■詩を味わい、音読する。
		熟語の成り立ち	2 伝国②	◎熟語の構成などについて理解を深めることができる。(伝国(1)イ(エ)・ウ(ア))	・さまざまな構成の熟語について、進んで調べようとしている。		・語句の構成やその違いを理解している。	
	9	たのしみは	3 書③	◎短歌のもつ表現の効果を確かめたり、工夫したりすることができる。(書(1)オ, 伝国(1)イ(カ)) ◎作った短歌を発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。(書(1)カ) ○短歌を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(伝国(1)ア(イ))	・表現のしかたを確かめながら、短歌を作ろうとしている。	【書】 ・よりよくするための表現の工夫をし、条件に合わせて短歌を作っている。 ・作った短歌を発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合っている。	・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもちながら短歌を作っている。	■短歌を作る。
		漢字の広場③	1 書①	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ・書いた文章を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。(書(1)オ)	・絵を見て、様子を想像しながら物語を書こうとしている。	【書】 ・表現の効果などを確かめている。	・5年生までに習った漢字を正しく使って、文や文章を書いている。	■絵を見て物語を書く。
		4 意見を聞き合って考えを深め、意見文を書こう						
	10	未来がよりよくあるために [資料] 平和のとりでを築く	1 1 話・聞④, 書⑦	◎話し合いで深めた考えをもとに、構成を工夫して、自分の意見を明確に伝える文章を書くことができる。(書(1)イ, 伝国(1)イ(ア)) ◎互いの考えの違いや意図をはっきりさせ、計画的に話し合うことができる。(話・聞(1)オ) ○よりよい未来を巡る自分の意見が説得力をもつように具体例や資料を集め、適宜図表やグラフなどを用いることができる。(書(1)ア・エ)	・「未来がよりよくあるために」どのようなことをすればいいのか、友達の意見も聞いて考え、自分の考えを書こうとしている。	【話・聞】 ・互いの立場や意図をはっきりさせながら、質問や助言を入れて、計画的に話し合っている。 【書】 ・情報収集のため、学校図書館やインターネットなどで資料を調べ、本や文章を読み比べて必要な情報を要約したり、引用したりして用いている。	・書き言葉と話し言葉の違いに注意しながら意見文を書いている。	■意見文を書く。 ■グループで話し合う。 ※平和を願う心を養う題材、国際協調の精神を養う題材(社会・道徳) ※調べ学習(図書館活用)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動	
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項		
前期	10					<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや意見とは異なる立場に立つ他者の存在を意識し、構成を工夫して書いている。</li> <li>注釈や引用などを用いて、自分の意見が説得力をもつように書いている。</li> </ul>			
		漢字の広場④	1 書①	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア))</li> <li>○書いた文章を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。(書(1)オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵を見て、様子を想像しながら文章を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【書】</li> <li>表現の効果などを確かめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生までに習った漢字を正しく使って、文や文章を書いている。</li> </ul>	■絵を説明する文章を書く。	
		生活の中の言葉	2 伝国②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎日常の言語生活を見直し、敬語を適切に使ったり、世代間で言葉遣いが違うことに気づいたりすることができる。(伝国(1)イ(イ)・(ク))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敬語や世代による言葉の違いを中心に、自分の言語生活を見直そうとしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中から、世代により言葉が違っている例を見つけ出している。</li> <li>敬語の使い方を確認しながら例文を適切な表現に直している。</li> </ul>		
後期	10	5 自分の感じたことを、朗読で表現しよう							
		やまなし [資料] イーハトーヴの夢	8 読⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎作品の特徴や作者の思いを捉え、自分の感じたことが伝わるように朗読することができる。(読(1)ア・イ)</li> <li>○場面についての描写を捉え、作品の中で使われている表現を味わいながら、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。(読(1)エ, 伝国(1)イ(カ)・(キ)・(ケ))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語の情景や言葉の使い方に興味をもったり、作者の考え方や生き方を知ったりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【読】</li> <li>読んで感じ取った自分の思いが伝わるように朗読している。</li> <li>二つの場面を比べたり、資料を読んだりすることで、作品の特徴や作者の思いを捉えている。</li> <li>場面についての描写を捉えて、優れた叙述について自分の考えをまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語のリズムや表現のもつ美しさについて関心をもちながら、物語を朗読している。</li> <li>物語の構成について意識をもっている。</li> <li>比喩などの表現上の特色について気づいている。</li> </ul>	■朗読で表現する。 ※生と死を見つめる心を養う題材(道徳)	
	秋の深まり	2 書②	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎秋を感じる言葉を見つけて短歌を創作することができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(カ))</li> <li>・短歌を発表し、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。(書(1)カ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節を表す言葉などに興味をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【書】</li> <li>季節を表す言葉を集め、短歌を創作している。</li> <li>短歌を発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「秋」を表す言葉の語感、言葉の使い方について関心をもっている。</li> </ul>	■短歌を作る。 ※国語に対する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)		
	11								

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1 1	6 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう 『鳥獣戯画』を読む [コラム] 絵画や写真を見るときは	6 読⑥	◎絵と文章との関係を押さえて筆者の考え方を捉え、自分の考えを明確にしながらか読むことができる。(読(1)ウ, 伝国(1)イ(オ)) ○文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読(1)オ)	・絵巻物に対する筆者の見解に興味をもち、文章を読もうとしている。	【読】 ・筆者がどのようなことを根拠として考えを述べているのかを捉えている。 ・筆者の意図と表現の工夫との関連について考えている。 ・自分と他者とのものの見方や感じ方の共通点と相違点を明らかにし、自分の考えを深めている。	・文末表現や助詞の使い方など、語句に着目して読み、語句と語句との関係を理解している。	■絵を解説した文章を読み、自分のものの見方を広げる。 ※我が国の優れた文化遺産について興味・関心を深める題材(社会) ※題材「鳥獣人物戯画」(図画工作)
		この絵、私はこう見る	6 書⑥	◎表現の効果を確かめたり工夫したりして書くことができる。(書(1)オ) ○絵から感じたことの中から書くことを決め、全体を見通して事柄を整理することができる。(書(1)ア) ○事実と感想、意見などを区別するとともに、必要に応じて絵の様子を簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。(書(1)ウ, 伝国(1)イ(オ))	・絵画に興味をもち、自分なりに絵から読み取ったことを伝えようとしている。	【書】 ・絵の中にある情報を、適切に区別したり関連づけたりしている。 ・絵から読み取ったことと感じたことを区別して書いている。 ・自分の見方や感じ方が伝わるように、表現を工夫して書いている。	・語句と語句との関係を考えながら、文章の中で使っている。	■絵から読み取ったこと、感じたことを伝える文章を書く。 ※芸術作品に触れ、鑑賞文を書く。(図画工作・音楽) ※関連読書(図書館活用)
		漢字を正しく使えるように [コラム] 覚えておきたい言葉	2 伝国②	◎送り仮名や仮名遣いに注意して漢字を正しく書くことができる。(伝国(1)イ(ウ)・ウ(ア))	・送り仮名や仮名遣いを確かめながら、漢字を書こうとしている。		・送り仮名や仮名遣いを確認しながら、適切な表現に直している。	
	7 伝統文化を楽しもう							
	1 2	伝えられてきたもの 狂言 柿山伏 「柿山伏」について	5 読⑤	◎「柿山伏」を、役割を決めて自分の思いが伝わるように音読することができる。(読(1)ア, 伝国(1)ア(ア)) ○昔の人のものの見方や感じ方を知ったり、時間の経過による文字や言葉の変化に気づいたりすることができる。(伝国(1)ア(イ)・イ(イ)・ウ(イ))	・日本の伝統文化に興味や親しみをもとうとしている。	【読】 ・狂言独特の表現や調子のおもしろさを意識し、楽しみながら声に出して読んでいる。	・現代に通じる昔の人のものの見方や感じ方について気づいたことを発表している。 ・現代と違う文字や言葉遣い、言い回しに気づいている。	■伝統文化を楽しむ。 ※我が国の優れた文化遺産について興味・関心を深めさせる題材(社会)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1 2	日本で使う文字	2 伝国②	◎仮名および漢字の由来, 特質などについて理解できる。(伝国(1)ウ(イ))	・日本で使うさまざまな文字について理解しようとしている。		・仮名及び漢字の由来, 日本語の特質などについて理解している。	
		漢字の広場⑤	1 書①	◎5年生までに配当されている漢字を, 正しく文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ・書いた文章を読み直し, 表現の適切さを確かめることができる。(書(1)オ)	・絵を見て, 様子を想像しながら文章を書こうとしている。	【書】 ・表現の効果などを確かめている。	・5年生までに習った漢字を正しく使って, 文や文章を書いている。	■絵を説明する文章を書く。
		表現を選ぶ	3 伝国①, 書②	◎話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる。(伝国(1)イ(ア)) ○語句の係り方や照応のしかたなどに気づくことができる。(伝国(1)イ(キ)) ・目的に応じて書き言葉に表し, 表現のしかたや構成に着目して助言することができる。(書(1)カ)	・話し言葉と書き言葉の違いに興味をもち, 場面や相手に応じた表現をしようとしている。	【書】 ・書き言葉に表して, 表現のしかたに着目して助言している。	・話し言葉と書き言葉のそれぞれの特徴を理解している。 ・構成や内容を考え, 適切な文を書いている。	■話し言葉を書き言葉に書き換える。
		天地の文	1 伝国①	◎親しみやすい古文について, 内容の大体を知り, 音読することができる。(伝国(1)ア(ア)) ○昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(伝国(1)ア(イ))	・昔の人のものの見方や感じ方を考えようとしている。		・古文の内容の大体を知り, 特徴あるリズムを感じながら音読している。 ・昔の人のものの見方や感じ方を理解している。	■音読する。 ※国語に対する関心と, 我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
	1	未知へ	1 読①	◎優れた叙述を味わいながら, 自分の気持ちと重ねて音読したり, 考えたりすることができる。(読(1)ア・エ, 伝国(1)イ(ケ))	・詩の内容や表現のおもしろさを楽しみながら読もうとしている。	【読】 ・詩と自分の気持ちとを重ねて音読している。 ・優れた叙述に着目し, 自分と重ねて考えている。	・比喻や反復の効果に気づいている。	■詩を味わう。
8 筆者の考えをとらえ, 自分の考えと比べて書こう								
		自然に学ぶ暮らし	6 読⑥	◎事実と感想・意見などとの関係を押さえながら文章の内容を的確に押さえ, 筆者の考えと比べながら自分の考えを明確にすることができる。(読(1)ウ, 伝国(1)イ(キ)) ○文章を読んで考えたことを発表し合い, 自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読(1)オ)	・自然の仕組みとそれを暮らしに生かす筆者の考え方に興味をもって, 文章を読もうとしている。	【読】 ・どのような事例や根拠を用いて, どのような考えを述べているのかを捉えている。 ・筆者の考えについて, 経験や知識と照らし合わせて, 自分の考えをまとめている。	・目的に応じて文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。	■意見を述べた文章を読み, 自分の考えと比べる。 ※自然の仕組みや環境問題に対する関心を促す題材(理科・社会)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1	漢字の広場⑥	1 書①	◎5年生までに配当されている漢字を、正しく文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)) ○書いた文章を読み直し、表現の適切さを確かめることができる。(書(1)オ)	・挿絵を見て、出来事や気持ちを想像し、分かりやすい文章を書こうとしている。	【書】 ・表現の効果などを確かめている。	・5年生までに習った漢字を正しく使って、文や文章を書いている。	■絵を説明する文章を書く。
		忘れられない言葉	6 書⑥	◎経験から書くことを決め、そこから自分の考えや気持ちを掘り起こし、書く事柄を整理することができる。(書(1)ア) ◎事実と感想・意見などを区別するとともに、意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。(書(1)ウ, 伝国(1)イ(キ))	・随筆という文章様式を知り、自分らしさの表れた随筆を書こうとしている。	【書】 ・自分の経験を見つめ直し、書くことを決めている。 ・出来事などの描写と自分の気持ちや感想を書き分けている。	・随筆という文章様式があることを理解している。	■随筆を書く。 ※生活を明るくし、強く正しく生きる態度を養う題材(道徳)
	2	カンジー博士の山登り	2 伝国②	◎漢字クイズを通して、漢字の知識を確かめることができる。(伝国(1)ウ(ア)) ○紛らわしい送り仮名に気がつけて、読んだり書いたりすることができる。(伝国(1)イ(ウ))	・漢字に興味をもち、漢字の知識や使い方を確かめようとしている。		・漢字の知識を確かめたり、紛らわしい送り仮名の違いを確かめたりしている。	
		春を待つ冬	2 書②	◎冬を感じる言葉を知り、手紙を書くことができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(カ)) ・自分の思いが伝わるように表現の効果を工夫することができる。(書(1)オ)	・季節を表す言葉などに興味をもっている。	【書】 ・季節を表す言葉を使って、今の自分の思いを伝える手紙を書いている。 ・表現の効果について確かめたり、工夫したりしている。	・「冬」を表す言葉の語感、言葉の使い方について関心をもっている。	■手紙を書く。 ※国語に対する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
9 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう								
		海の命	6 読⑥	◎教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読(1)オ) ○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。(読(1)エ, 伝国(1)イ(キ))	・作品に描かれている登場人物のつながりや心情を読み取りながら、主人公の生き方について自分の考えをもととしている。	【読】 ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、人物の生き方について自分の考えをまとめることができる。 ・人物の生き方についての考えを交流し、自分の考えを広げたり、深めたりしている。	・物語の構成を理解している。	■物語を読み、人物の生き方について話し合う。 ※自分の生き方に対する関心を促す題材(道徳)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	2	今、私は、ぼくは [コラム] 効果的な資料を提示する	6 話・聞⑥	◎今思うことを伝えるために、必要な資料を準備し、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。(話聞(1)ア・イ・ウ、伝国(1)イ(キ)・(ク)) ○話し手の思いを受け止めながら聞き、自分の思いや体験と比べながら感想をまとめることができる。(話・聞(1)エ)	・伝えたいことを決め、それが聞き手によく分かるように内容をまとめて話そうとしている。	【話・聞】 ・伝えたい話題を決め、必要な資料を準備している。 ・適切に内容を組み立て、印象深く伝わるように話し方を工夫して、スピーチしている。 ・共通語と方言を使い分けるなど、相手や場に応じた言葉遣いをしている。 ・話し手が、何を、誰に、どんな思いで伝えようとしているかを聞いている。	・場に応じて、適切な敬語を使っている。	■資料を提示しながらスピーチをする。 ※自分の生き方に対する関心を促す題材(道徳) ※話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いでスピーチをする。(総合的な学習の時間)
	3	卒業するみなさんへ 中学校へつなげよう 生きる 生き物はつながりの中に かなえられた願い——日本人になること	5 読⑤	◎教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読(1)オ) ○自分の思いや考えが伝わるように朗読をすることができる。(読(1)ア) ○作品や文章の中での言葉の使い方や表現の工夫に気づくことができる。(伝国(1)イ(オ)・(ケ))	・6年間で身につけた国語の力を使い、6年生の最後にふさわしい学習を自分の力でしようとしている。	【読】 ・各自が取り組んだ学習課題とその成果を聞き合い、自分が読み取ったことと比べて、共通点や相違点に気づき、自分の考えを深めている。 ・自分の思いや考えが伝わるように朗読している。	・文章を特徴づける語句と語句との関係や表現技法の工夫に気づいている。	■課題を決め、成果を発表する。 ※自分の生き方に対する関心を促す題材(道徳)
学習指導要領の配当時数			175					予備時数 5
国語の配当時数			140					
書写の配当時数			30					